

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 ヨハネ 21:25 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 29番 いざ、聖徒よ
- *交読文 …… 53番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 171番 はとのごと降る
- 礼拝のための祈り …… 成田エクレシア:河執事 天声:小林伝道師
- 賛美 …… 140番 いざいざきたりて
- メッセージ …… はじめから告げられていた救い主キリスト(イザヤ 46:10)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 90番 神の小羊
- 幸せと成功の宣言文 …… 会衆一同
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 …… コーエンジャパンの講義が明日 9/25 (月)より5日間行われます。
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。それゆえに、神は彼を高く引き上げ、すべての名にまさる名を彼に賜わった。それは、イエスの御名によって、天上のもの、地上のもの、地下のものなど、あらゆるものがひざをかがめ、また、あらゆる舌が、「イエス・キリストは主である」と告白して、栄光を父なる神に帰するためである。(ピリピ 2:6-11)

それから____に言われた。「____の指をここに付けて、わたしの手を見なさい。手を伸ばして、わたしのわきに差し入れなさい。信じない者にならないで、信じる者になりなさい。」 ____は答えてイエスに言った。「____の主。____の神。」

イエスは____に言われた。「あなたはわたしを見たから信じたのですか。見ずに信じる者は幸いです。」(ヨハネ 20:27-28)

メッセージ概要

今週はコーエンジャパンの学びの週である。今回コーエンでは創世記 1 章から 11 章までをじっくり学ぶ。預言者イザヤは預言した。ひとりのみどりごが、全人類のために神からプレゼントされる事を。彼は、ほふり場に引かれて行く小羊のように口を開かず、打たれ、砕かれる、という事を。そして、彼は罪過のいけにえとなり、それによって主の御心は成し遂げられ、そうして彼は多くの人々の救いとなる、と(イザヤ 53 章)

実をいうと、これらの事は、イザヤが最初に預言したのではない。実は聖書の一番最初の、それも、最もはじめの言葉、「בראשית」(ベレシート:はじめに)」というヘブライ語 6 文字の中に隠されているのだ。

ヘブライ語は、そのアルファベット一語一語にも意味が込められている。特に、この聖書最初の単語「בראשית」ベレシートを見ると、その中には全宇宙が、そして永遠が、そのまますっぽり入る程の意味が込められていると言っても過言ではない。この単語は、右からベート、レーシュ、アレフ、シン、ユッド、タヴの順に書くが、ベレシートを構成するそれぞれの語の意味は、次の表の通りである。

文字	発音	意味
ב	ベート	テント、家、体、家族、中に、真っ最中／真ん中
ר	レーシュ	頭、一人の人、最も高い、最も重要な、チーフ
א	アレフ	雄牛、優しい、力、従順な、リーダー、アドナイ(わが主)、最初の
שׁ	シン	歯、象牙、山頂／とがった、貪り食う、焼き尽くす、破壊する、何か尖ったもの、エルシャダイ(全能の神)
י	ユッド	手、働き、為した事、終えた仕事
ת	タヴ	マーク、しるし、x または十字架、所有権、封を閉じる、契約／捺印、二つのものを一つに、終わり

以上、これら一つ一つの意味をただ順番通りにつなげて行くと、以下ようになる。

家、家庭の中心。 頭なるお方、最も高い、最も重要な一人のチーフ。
優しい、力ある、従順なリーダー、わたしの主。 焼き尽くされ、破壊され、滅ぼされ、、
為すべき仕事を成し遂げた、手 しるし、十字架、契約、捺印、終わった、二つのものを一つに

まさにイエス・キリスト、私達の主のご性質であり、彼の十字架による贖い、救い、そして、新契約の締結が、正確にあらわれている。 聖書の一番最初の 6 文字「בראשית」に、キリストのご性質と、そして彼の十字架による贖いの契約を、全能なる神は、聖書一番最初の一文に込めて私達に示して下さっていたのだ。

彼は、力ある神の御姿であられるのに、心優しくへりくだっているのです、誰でも彼の所に来て、重荷を降ろす事ができる。(マタイ 11:28-30)

『キリストは、神のかたちであられたが、神と等しくあることを固守すべき事とは思わず、かえって、おのれをむなしうして僕のかたちをとり、人間の姿になられた。その有様は人と異ならず、おのれを低くして、死に至るまで、しかも十字架の死に至るまで従順であられた。』(ピリピ 2:6-8)

彼を砕いて痛める事は、父なる神の御心であった。彼はそれによって多くの人を義とし、父の御心になつた仕事を成し遂げられた。(イザヤ 53:7-12)

彼こそ、私達の平和であり、二つのものを一つにし、隔ての壁を打ち壊し、両者を一つのからだとして、十字架によって神と和解させ、このキリストにあって組み合わせられ、神の建物となる。(エペソ 2:13-18)

まさに、次のように書かれてある通りである。『わたしは終りの事を初めから告げ、まだなされない事を昔から告げて言う、『わたしの計りごとは必ず成り、わが目的をことごとくなし遂げる』と。』(イザヤ 46:10)

